

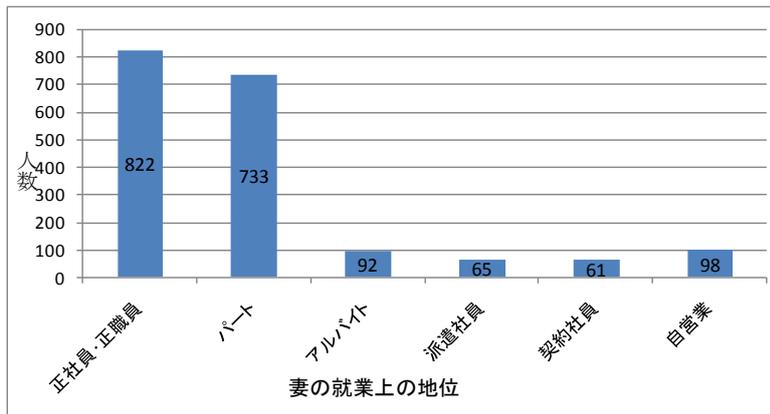
## 5章 妻の就業や子ども数と子育て参加頻度との関係

### 1. 妻の就業

#### (1) 妻の就業上の地位

本調査の対象である共働き男性 1871 名の妻の就業上の地位を図 5-1 に示す。最も多いのは妻が正社員・正職員として就業している人で 822 名 (43.9%) である。次いでパート 733 名 (39.2%)、自営業 98 名 (5.2%)、アルバイト 92 名 (4.9%)、派遣社員 65 名 (3.5%)、契約社員 61 名 (3.3%) である。

図 5-1 対象者の妻の就業上の地位

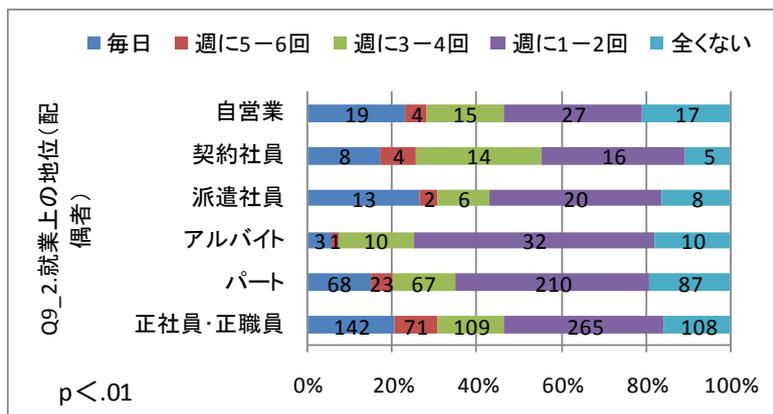


#### (2) 子育て頻度との妻の就業上の地位との関係

##### ① 未就学児

妻の就業上の地位別の父親の未就学児に対する子育て頻度（子どもの食事の世話）を図 5-2 に示す。妻が正社員・正職員、派遣社員、契約社員、自営業である場合に父親が子どもの食事の世話をする頻度が多い。反対に、妻がパートやアルバイトの場合には父親が子どもの食事の世話をする頻度が少ない。他の項目では、子どもといっしょに食事をする、子どもの着替えや身支度をするなどに同様の傾向が見られた。一方で、子どもの遊び相手になる、子どもと一緒に風呂に入る、おむつやトイレの世話、本の読み聞かせなどは妻の就業上の地位に関係なく、父親は週 1-2 回、週 3-4 回程度行っていることが多い。

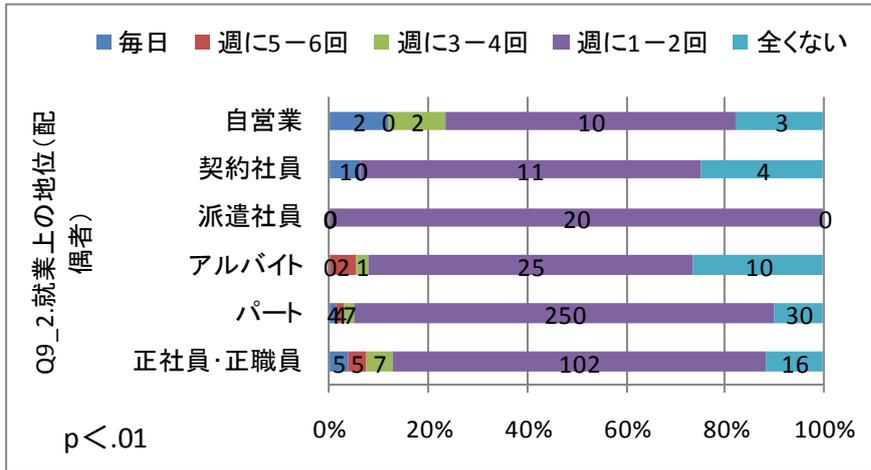
図 5-2 妻の就業上の地位と子どもの食事の世話をする頻度とのクロス集計



②小学生以上

妻の就業上の地位と、父親が小学生以上の子どもと一緒に家の外で遊ぶ頻度とのクロス集計結果を図 5-3 に示す。妻の就業上の地位にかかわらず、週に 1-2 回が最も多いことから、妻の就業上の地位と父親が子どもと一緒に外で遊ぶ頻度は、あまり関係がないことが明らかになった。子どもと夕食を取る頻度など、他の項目では統計的に有意な結果は見られなかった。

図 5-3 妻の就業上の地位と子どもと一緒に外で遊ぶ頻度とのクロス集計

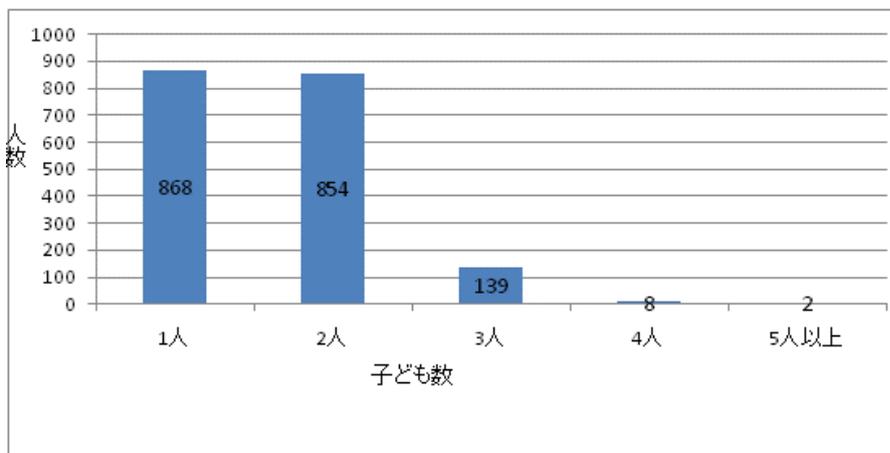


2. 子ども数

(1) 子ども数

本調査の対象である共働き男性 1871 名の子ども数を図 5-4 に示す。平均子ども数は 1.6 人であり、最も多い子ども数は 1 人で 868 名 (46.4%)、次いで 2 人が 854 名 (45.6%)、3 人が 139 名 (7.4%)、4 人が 8 名 (0.4%)、5 人が 2 名 (0.1%) である。

図 5-4 対象者の子ども数



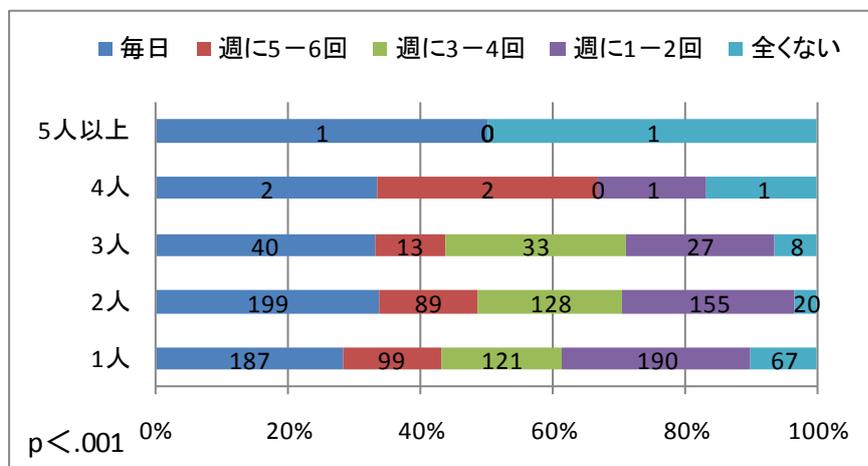
(2) 子育て頻度と子ども数との関係

①未就学児

子ども数別の父親の未就学児に対する子育て頻度(子どもの食事の世話)を図 5-5 に示す。子ども数にかかわらず、3 割前後の父親が、毎日子どもと食事をし、ほぼ半数の父親が週に 3-4 回

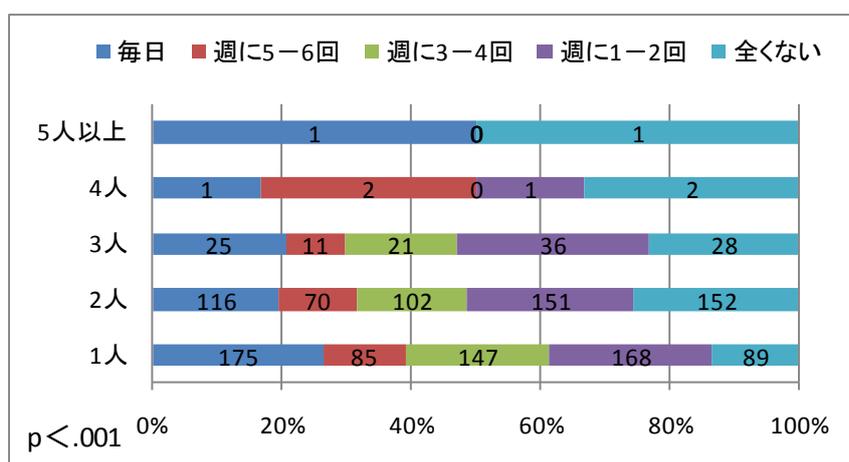
以上は子どもと一緒に食事をしている。子どもと一緒に風呂に入る頻度についても近い傾向が見受けられる。

図 5-5 子ども数と子どもと一緒に食事をする頻度とのクロス集計



次に、子ども数別の子どものおむつやトイレの世話をする頻度を図 5-6 に示す。上の結果とは違い、子ども数が一人の場合におむつやトイレの世話をする頻度が多い。この結果から、子ども数が少ない場合、第一子の年齢がまだ小さく、手がかかるために父親が世話をする頻度も多くなることが考えられる。また第一子が乳幼児期である親移行期の場合には、夫婦が協力して育児を行う姿が見られるが、こうした一面がこの結果からうかがうことができる。子どもの遊び相手になるという項目でも同様の傾向が見受けられる。

図 5-6 子ども数と子どものおむつやトイレの世話をする頻度とのクロス集計



## ②小学生以上

子ども数と父親が小学生以上の子どもと会話をする頻度とのクロス集計結果を図 5-7 に示す。子どもがひとりの場合に、父親が子どもと会話をする頻度が多い。この結果から、子どもが二人以上の場合にはきょうだいで会話をするが、子どもがひとりの場合は、子どもと父親が会話をする機会も多くなることが考えられた。一方、子どもと夕食を取る頻度など、他の項目では統計的に有意な結果は見られなかった。

図 5-7 子ども数と子どもと会話をする頻度とのクロス集計

